

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時
結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	末梢血液一般・網赤血球	材料	血液
検査結果用紙の見方			

検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
末梢血液一般検査			***	
WBC	L 1.73	10 ⁹ /L	3.30 - 8.00 × 10 ⁹ /L	
RBC	L 2.97	10 ¹² /L	4.35 - 5.55 × 10 ¹² /L	
Hb	L 8.9	g/dL	13.7 - 16.8 g/dL	
Ht	L 26.0	%	40.7 - 50.1 %	
MCV	87.5	fL	83.6 - 98.2 fL	
MCH	30.0	pg	27.5 - 33.2 pg	
MCHC	34.2	%(g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL	
PLT	!L 17	10 ⁹ /L	158 - 348 × 10 ⁹ /L	
NRBC	H		0.0 /100WBC	
NRBC#			*** 10 ⁹ /L	
RDW-SD			*** fL	
RDW-CV			*** %	
PDW			*** fL	
MPV			*** fL	
P-LCR			*** %	

基準範囲から外れている場合にマークが付きます
H：基準範囲 上限超え
L：基準範囲 下限超え
!H / !L：緊急異常値

各検査項目の基準範囲を示します

検査種別	生化学検査	血液
受付日		
受付番号	00010	

検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
乳び(生化学)	0			示]をクリック
溶血(生化学)	0			示]をクリック
黄疸(生化学)	0			示]をクリック
AST	H >1600	(仮) U/L		
ALT	H >1600	(仮) U/L		
LD(IFCC)	H 233	U/L		
ALP(IFCC)	H			
γ-GT	!H			
TP				
ALB				
A/G				
T-Bil	H			
D-Bil				
CRE	H			
eGFR	L			
UA	H			
UN				

検査結果が変更となる可能性がある仮報告であることを示しています

基準範囲は、健常人の大多数が含まれる検査値の範囲を示すもので健常人であっても基準範囲外の結果となることがあります。また、それとは逆に病気をもち人であっても基準範囲内の結果となることもあります
検査値は自身で解釈せずに、必ず主治医の判断に従ってください

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	末梢血液一般・網赤血球		
受付日		材料	血液
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
末梢血液一般検査			
WBC	白血球数	10 ⁹ /L	3.30 - 8.00 × 10 ⁹ /L
	感染症などの炎症性疾患によって増加するほか、血液を造る場である骨髄の異常（白血病など）によっても異常値を示します。		
RBC	赤血球数	10 ¹² /L	男性：4.35 - 5.55 × 10 ¹² /L 女性：3.86 - 4.92 × 10 ¹² /L
	血液中の赤血球の個数を表します。 貧血や多血症の診断に用いられます。		
Hb	ヘモグロビン, 血色素量	g/dL	男性：13.7 - 16.8 g/dL 女性：11.6 - 14.8 g/dL
	酸素を運搬するヘモグロビンの濃度を表します。 貧血や多血症の診断に用いられます。		
Ht	ヘマトクリット	%	男性：40.7 - 50.1 % 女性：35.1 - 44.4 %
	血液全体に対して、赤血球が占める割合です。 貧血や多血症の診断に用いられます。		
MCV	平均赤血球容積	fL	83.6 - 98.2 fL
	赤血球1個あたりの平均的な大きさを表します。 貧血の原因を推測するために用いられます。		
MCH	平均赤血球血色素量	pg	27.5 - 33.2 pg
	赤血球1個あたりの平均のヘモグロビン量です。 貧血の原因を推測するために用いられます。		
MCHC	平均赤血球血色素濃度	% (g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL
	赤血球1個あたりの平均のヘモグロビン濃度です。 貧血の原因を推測するために用いられます。		
PLT	血小板数	10 ⁹ /L	158 - 348 × 10 ⁹ /L
	出血を止める働きのある血小板の個数を表します。		
網赤血球数	赤血球を造る能力を表す指標です。 貧血の原因を推測するために用いられます。	%	男性：6.7 - 18.1 % 女性：7.0 - 20.0 %
		10 ¹² /L	0.02 - 0.10 × 10 ¹² /L

検査種別	末梢血液像(鏡検法)(自動機械法)		
受付日		材料	血液
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
末梢血液像	白血球の種類を好中球・リンパ球・単球・好酸球・好塩基球などに分類したものです。感染症、アレルギー反応、各種の血液疾患の鑑別に用いられます。		
Neutrophil NEUT%	好中球	%	46.0 - 62.0 %
	増加する病態： 急性細菌感染症、各種炎症反応、白血病など		
Lymphocyte LYMPHO%	リンパ球	%	30.0 - 40.0 %
	増加する病態： ウイルス感染症、白血病など		
Monocyte MONO%	単球	%	4.0 - 7.0 %
	増加する病態： 白血病、感染症など		
Eosinophil EOSINO%	好酸球	%	3.0 - 5.0 %
	増加する病態： 寄生虫病、アレルギー性疾患など		
Basophil BASO%	好塩基球	%	0.0 - 1.0 %
	増加する病態： 白血病、アレルギー性疾患など		

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	赤血球沈降速度	材料	血液
受付日			
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
赤血球沈降速度 ESR 1h	血中に含まれるタンパクなどの成分が増減しているかを示す指標で、体内で起こっている炎症の程度を知ること	mm	男性：2 - 10 mm 女性：3 - 15 mm

検査種別	出血時間	材料	血液
受付日			
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
出血時間	血管が損傷を受けたときに、血管の内皮に血小板が粘着、凝集して止血反応が進みますが、耳たぶにメスで傷を付けて血液が自然に止まるまでの時間を測定することによって、止血反応の異常を検出するための検査です。	分	1 - 5 分

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査項目	検査の概要	単位	基準値
検査種別 出血・凝固検査 受付日 受付番号 00010		材料 血液	
PT PT時間 PT活性 PT-INR	プロトロンビン時間 血液を固める作用をもつ凝固因子の不足や、凝固因子を産生する肝臓の障害を評価する目的のほかにも、ワルファリンなどの経口抗凝固療法における薬の量の調整にも用いられる検査です。	PT時間：秒 PT活性：%	PT活性：80 - 100 %
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間 血液を固める作用をもつ凝固因子の不足（血友病による凝固因子の欠損を含む）を評価したり、凝固因子の働きを阻害するような血中の物質の存在を推測する検査です。	秒	24 - 39 秒
フィブリノゲン	フィブリノゲンを産生する肝臓の働きを評価したり、急性炎症や悪性腫瘍によって増加するフィブリノゲンを測定する検査です。	mg/dL	200 - 400 mg/dL
アンチトロンビン	血液が固まる（凝固する）際に生成されるトロンビンと呼ばれる物質に結合するアンチトロンビンを測定して数値の低下がみられた場合、トロンビンが大量に生成されて凝固反応の活性化を知ることができる検査です。	%	83.0 - 118.0 %
Dダイマー	完成した血栓が溶解した時に産生される物質で、いわゆるエコノミークラス症候群と呼ばれる深部静脈血栓症や肺塞栓症の診断などに用いる検査です。	μ g/mL	1.0 μ g/mL 未満
FDP	フィブリン・フィブリノゲン分解産物 血液が固まる（凝固する）ための元となるフィブリノゲンと呼ばれる物質が分解されたり、完成した血栓が溶解されたりすることによって増加する物質で、播種（はしゅ）性血管内凝固（DIC）と呼ばれる全身の血栓症を診断する目的などに用いる検査です。	μ g/mL	5 μ g/mL 未満
TAT	トロンビン・アンチトロンビン複合体 血液が固まる（凝固する）際に生成されるトロンビンと、それを阻止する物質であるアンチトロンビンとが結合することによって生成されるTATを検査することによって、凝固反応が活性化していることを示す指標となります。	ng/mL	4.0 ng/mL 未満
PIC	プラスミン・α2プラスミンインヒビター複合体 血栓を溶解する物質であるプラスミンと、それを阻止する物質であるプラスミンインヒビターとが結合することによって生成されるPICを検査することによって、血栓を溶解する反応の程度を示す指標となります。	μ g/mL	0.8 μ g/mL 未満